

リニアコライダーに関する国際会議開催に係る対応について

平成 28 年 8 月 5 日
市長 公 室

本年 12 月に盛岡市において、リニアコライダーに関する国際会議「LCWS2016」が開催される予定であることから、同会議の開催に対して開催地として必要な支援等を行うものである。

1 リニアコライダーに関する国際会議

- (1) 名称 LCWS2016 (International Workshop on Future Linear Colliders)
- (2) 期間 平成 28 年 12 月 5 日 (月) ～ 9 日 (金)
- (3) 会場 アイーナ (いわて県民情報交流センター)、マリオス (盛岡地域交流センター)
- (4) 主催 LCC (日本代表 東北大学山本均教授)
- (5) 参加 世界各地から訪れる研究者 250 人, 全国の大学生等 50 人 計 300 人
- (6) 内容 加速器に関する研究成果等の発表及び意見交換

※LCWS (International Workshop on Future Linear Colliders) とは、欧州合同原子核研究所 (CERN) の大型加速器を用いた実験成果や素粒子物理学の新たな理論に対し、精密な実験データを得られる直線型高速加速器 (リニアコライダー) が研究の進展にどう貢献するのかなどを意見交換するための研究者の国際会議である。2014 年はセルビアのベオグラード、2015 年はカナダのウィスラーで開催されている。

※LCC (Linear Collider Collaboration) とは、直線型衝突加速器 (リニアコライダー) の国際共同研究を進めるための研究者による国際組織である。ディレクターは CERN で大型加速器建設の総指揮を執ったリン・エバンス氏である。

2 開催地の支援

(1) 協力体制

- ・東北大学 (山本均教授 / 主催者) ・岩手大学 (成田晋也教授 / 主催者)
- ・岩手県 (政策地域部科学 ILC 推進室, 盛岡広域振興局企画推進課)
- ・盛岡市 ・岩手県 ILC 推進協議会
- ・盛岡観光コンベンション協会

(2) 開催地の支援

国際リニアコライダーの日本誘致への理解を深め、機運醸成を図る大切な機会となることから、開催地として必要な会議への支援を行うとともに、地元の魅力を紹介するなど、日本誘致の促進に向けた取組とする。

なお、支援等の内容（次表）は、現在、東北大学（山本均教授）、岩手大学（成田晋也教授）、岩手県、岩手県 ILC 推進協議会などの関係団体と詳細を協議中である。

区 分	内 容
会議支援	<ul style="list-style-type: none"> ・会議で必要となる Wi-Fi（通信環境）等の提供 ・会議開催中のヘルプデスク（総合案内窓口）設置 ・コンgresバッグの提供 ・休憩コーナーにおけるドリンク等の提供
魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「市長招宴・ウェルカムパーティー」の開催 ・研究者及び同伴者を対象としたエクスカッション（体験型の見学会）の実施 ・市内回遊マップ（英語版）の提供 ・会場内への魅力発信ブースの設置 ・記念品の提供
誘致促進	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等の展示ブースの設置 ・啓発イベントの実施

(3) 市の役割

前記(2)のとおり支援内容を協議中であるが、現段階での市の役割は次のとおりである。また、これに係る経費については、市議会 8 月定例会に補正予算を提案予定である。

<ul style="list-style-type: none"> ・市長招宴・ウェルカムパーティーの開催 ・研究者及び同伴家族を対象としたエクスカッションの実施 ・市内回遊マップ（英語版）等の提供 ・マリオス会場内の Wi-Fi 対応機器の設置（リース）

【参考】国際リニアコライダー誘致をめぐる状況

(1) 国（文部科学省）

国際リニアコライダーに関する有識者会議（平成 27 年 6 月 25 日）において、中間報告がなされ、「欧州で行われている研究の成果を見極めるほか、費用負担を含めた国際協力体制の見通しを付けること」や「技術面での課題解決」「建設・運転における人材の確保・育成」が必要との提言がされた。

また、国際リニアコライダーに関する有識者会議（平成 27 年 7 月 7 日）においては、「戦略的な人材確保の必要性」や「加速器計画での積極的な若手登用」などの提言とともに、「建設の際に検討すべき規制の検証」や「新技術によるコスト削減の可能性の検証」などが今後の検討事項とされた。

国においては、この有識者会議での検討結果や、平成 29 年末までの欧州における研究結果に基づいて想定される「新たな科学的成果の創出」を勘案して、平成 30 年以降に誘致に係る判断を行うものと見られる。

(2) 岩手県

県は、県内外の I L C 関係者の I L C 推進の岩手での活動拠点とするため、「岩手 I L C 連携室」を県先端科学技術研究センター内に平成 28 年 6 月 15 日に設置した。

(3) 東北 I L C 推進協議会

総会（平成 28 年 6 月 14 日）において、東北 I L C 準備室（室長：岩手県立大学 鈴木厚人学長）を平成 28 年度に設置し、I L C に係る地域広域基本計画の策定作業に取り組むこととした。

また、盛岡市長、一関市長、奥州市長、気仙沼市長が同協議会の参与に就任した。